

—— 会 告 ——

第37回日本核医学技術学会総会学術大会開催について

理事長 片 渕 哲 朗

大会長 渡 邊 浩

会員各位

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、第37回日本核医学技術学会総会学術大会はパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）において第57回日本核医学会学術総会と合同開催致します。本会のテーマは「核医学の明るい未来に向けて」です。核医学の環境が日々進化を遂げ多様化する中、核医学の明るい未来に向けて会員の皆様と様々なディスカッションができるよう準備を進めております。また今回は第12回アジア・オセアニア核医学会学術会議（AOCNMB）および第7回アジア核医学技術学会国際会議（ASNMT）と同時開催いたします。アジア・オセアニア地域の方々と交流を深めるとともに国際学会を体感し楽しむ機会になれば幸いです。

会員の皆様には多数ご参加くださいますよう心からお願い申し上げます。

記

1. 会 期：平成29年10月5日（木）・6日（金）・7日（土）
2. 会 場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）
 - ・東急東横線・副都心線直通みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩5分
 - ・JR 京浜東北線・横浜市営地下鉄桜木町駅より徒歩12分
 - ・東京国際空港（羽田）パシフィコ横浜行き直通リムジンバスを利用（40分）

3. 参加登録費と入場範囲：

会員15,000円、非会員20,000円

学部生・学生・核医学技術系大学院生2,000円（社会人を除く）

第37回日本核医学技術学会総会学術大会に参加する方は、必ず大会ホームページ「学会場入場可能範囲について」をご確認ください。

第37回日本核医学技術学会総会学術大会に参加登録された場合、従来同様に本学会会場等となる5階フロアーすべてと、合同企画会場等となるメインホールへの入場ならびに発表を行うことができます。ただし、メインホールを除く第12回 AOCNMB（第

57回日本核医学会学術総会も同様）の会場（3階および4階フロア）には入場はできませんのでご注意ください。第12回 AOCNMB（第57回日本核医学会学術総会）で発表ならびに第12回 AOCNMB を含むすべての会場に入場を希望される場合は、第12回 AOCNMB（英文表示）ではなく、第57回日本核医学会学術総会（和文表示）より参加登録してください。この場合は本学会会場への入場ならびに発表もできます。なお、第37回日本核医学技術学会総会学術大会の参加登録は当日のみで事前登録はありません。詳細ならびに最新情報については大会ホームページをご確認ください。

注）第57回日本核医学会学術総会（和文）の参加登録費は登録時期で異なります。詳細は第57回日本核医学会学術総会（和文）のホームページ（<http://www2.convention.co.jp/nm2017/>）等でご確認ください。

4. 大会テーマ：核医学の明るい未来に向けて

Connecting people for the bright future of Asia-Oceania nuclear medicine

5. プログラム（予定）：

- 1）一般研究発表（口述：日本語・英語）
- 2）会長，大会長講演
- 3）合同特別講演
- 4）4会（AOCNMB, JSNM, JSNMT, ASNMT）合同シンポジウム（英語）

「FDG- PET の SUV の標準化と調和化」

Standardization and harmonization for FDG-PET SUV

- ・バイオマーカーとしての臨床的重要性

Activity of Quantitative Imaging Biomarkers Alliance (QIBA[®]) and PET/CT Standardization 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 立石宇貴秀

- ・これまでの「標準化」「調和化」の成果

Review of standardization and harmonization for PET image acquisition and standardized uptake value 国際医療福祉大学保健医療学部 三輪 建太

- ・バイオマーカーの標準化や調和化に関する厚労省の考え

Concept of quality control and standardization about clinical examination

大阪大学大学院医学系研究科 渡部 直史

- ・日本核医学会の取り組み「撮像標準化合同 WG」

The JSNM strategies for standardization and harmonization of quantitative whole-body FDG-PET studies 放射線医学総合研究所 赤松 剛

- ・PET 画質の「標準化」と「調和化」に関する経験

Standardization and Harmonization for PET imaging: Results from Multi-Center Studies
群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部 大崎 洋充

5) JSNM, JSNMT 合同シンポジウム (日本語)

「内用療法の普及と安全利用—多職種の立場から—」

- ・「医師」新規内用療法薬剤の導入と他職種連携

横浜市立大学附属病院 高野 祥子

- ・「看護師」内用療法における看護師の介入と今後の課題

北里大学病院 村山 友美

- ・「薬剤師」薬剤師の立場から考える放射性医薬品の取り扱いと患者ケア

東京医科大学病院 藤塚 一行

- ・「診療放射線技師」アイソトープ内用療法の放射線管理の現状

金沢大学附属病院 米山 寛人

6) 技術学会本部・実行委員会合同企画

①シンポジウム 1 「小児核医学検査適正施行」

- ・JSRT 研究班成果「小児ファントムによる画像評価に関する研究」

倉敷中央病院 長木 昭男

- ・JSNMT 研究班成果「ガイドライン投与量を想定した臨床的検討」

関西医科大学附属病院 杉林 慶一

- ・小児核医学検査適正ガイドラインに関するアンケート調査

杏林大学保健学部 山本 智朗

- ・コンセンサスガイドライン順守について、施行医・読影医の立場から

東京慈恵会医科大学医学部 内山 眞幸

7) 技術学会実行委員会企画

①特別講演

- ・現在進行形の核医学検査技術：明るい未来のために

北里大学医学部 井上 優介

②シンポジウム 2 「ドーズキャリブレーションの品質管理」

- ・『ドーズキャリブレーションの管理及び点検のマニュアル』発刊の経緯と内容

首都大学東京大学院 福喜多博義

- ・ドーズキャリブレーションの特徴、取扱、校正

日本アイソトープ協会 中村 吉秀

- ・保守点検の内容、設置条件、設置前試験（製造販売業者の立場から）

株式会社 日立製作所 岩本 明憲

- ・保守点検の内容、設置条件、設置前試験（輸入販売業者の立場から）

アクロバイオ株式会社 木村 孝

- ・マニュアル発刊前後の日常点検記録

北里大学病院 渡邊 篤史

- ・PET 撮像施設認証で求められるドーズキャリブレーションの品質管理

つくば国際大学保健学部 津田 啓介

③シンポジウム 3 「核医学におけるコンピュータシミュレーション～理想を求めて～」

- SPECT におけるモンテカルロシミュレーション技術

法政大学理工学部 尾川 浩一

- Geant4 による PET とトレーサブル点状線源のシミュレーション

北里大学医療衛生学部 長谷川智之

- MCEP コードを用いた PET/SPECT 画像のシミュレーション—内用療法核種を中心に—

九州大学医学研究院 高橋 昭彦

- 核医学画像と人工知能のこれから

北海道科学大学保健医療学部 菊池 明泰

④基礎講座 6 題

- 画像再構成問題と定量性

杏林大学保健学部 橋本 雄幸

- SPECT と PET の定量性 現状の把握と信頼性向上に向けて

東北大学大学院医学系研究科 志田原美保

- RI 標識抗体の体内放射能動態

千葉大学大学院薬学研究院 荒野 泰

- 核医学装置の安全管理に関する情報提供

東芝メディカルシステムズ株式会社 本村 信篤

- 核医学検査室の管理法～押さえておきたい 3 つのポイント～

横浜市立大学附属病院 尾川 松義

- 英語論文作成のコツ

杏林大学保健学部 松友 紀和

⑤New 画像コンテスト

8) 技術学会本部企画

①卒後教育プログラム

- 専門技師対象講座

テーマ:「脳」

「臨床医の立場から」

脳神経外科医による物忘れ外来—認知症鑑別診断の難しさ

帝京大学医学部附属溝口病院 中根 一

「読影医の立場から」

脳核医学検査と読影の実際

東海大学医学部 橋本 順

- 基礎教育講座

「放射線物理学」

核医学に必要な放射線物理学の基礎

杏林大学保健学部 小池 貴久

「臨床核医学」

肝胆膵領域における核医学診断の役割

山王病院 内山 勝弘

「放射線管理」

核医学の安全を 知ろう！やろう！広げよう！

滋賀医科大学医学部附属病院 木田 哲生

- 教育講演

テーマ：「コンパートメントモデル」

コンパートメントモデルを理解しよう

東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 渡部 浩司

②委員会・WG 報告

- WG報告

SPECT/CT における CT の適正使用に関するガイドライン（2017年）

—構成と使用の手引き—

大阪大学医学部附属病院 藤埜 浩一

- 標準化委員会報告

「脳検証チーム」標準化ガイドライン：脳 SPECT—評価法と判定基準—

大阪市立大学医学部附属病院 山永 隆史

「心臓検証チーム」標準化ガイドライン：心筋 SPECT—評価法と判定基準—

豊田会刈谷豊田総合病院 青木 卓

「骨検証チーム」標準化ガイドライン：骨 SPECT—評価法と判定基準—

杏林大学保健学部 松友 紀和

9) JSNMT, ASNMT 合同企画

①英語セッション（口演）

6. 情報交換会：日本核医学会との合同開催

平成29年10月6日（金）開催予定

7. 宿泊に関する問い合わせ：

実行委員会による宿泊の斡旋は行いません。会場徒歩圏内のみなとみらい地区、会場へのアクセスに便利な馬車道・横浜駅地区のホテルを中心に、公式旅行代理店（JTB）に確保を依頼しております。4月14日より予約受付を行っていますので、大会ホームページにてご確認ください。なお、宿泊や交通については、参加者ご本人様にて御手配くださいますよう、お願いいたします。

8. 大会事務局：〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

北里大学病院 放射線部

第37回日本核医学技術学会総会学術大会実行委員会

TEL 042-778-8504 FAX 042-778-8502

実行委員会事務局 E-mail : jsnmt2017-office@umin.ac.jp

第37回総会ホームページ : <http://jsnmt2017.umin.jp/>

第37回総会 Facebook ページ：

<https://www.facebook.com/jsnmt2017/>

第57回日本核医学会学術総会ホームページ：

<http://www2.convention.co.jp/nm2017/>

ASNMT ホームページ : <http://www.asnmt.org/>

9. 運営事務局 : 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2

大同生命霞が関ビル14階

日本コンベンションサービス株式会社 内

TEL 03-3508-1214 FAX 03-3508-1302

E-mail : admin-jsnmt2017@convention.co.jp